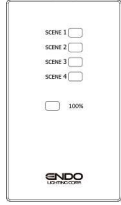


Smart LEDZ RX-384W (壁付けリモコン)

取扱説明書 (SPN, REV.01)



1. はじめに

この取扱説明書はSmart LEDZ RX-384W (壁付けリモコン) について記載しています(以下、リモコンと表記します)。必ずお読みの上、正しくお使いください。

- 本機はSmart LEDZシステムのゲートウェイ (RX-266W) と連動して、照明を制御することができる機器です。
- 本機で照明器具の電源を入り切る機能ではありません。照明器具の電源スイッチは必ず設けてください。
- 本機は照明器具の電源を入り切る機能ではありません。照明器具の電源スイッチは必ず設けてください。
- 設置工事は、この説明書の内容を十分にご理解の上、確実に実施してください。
- この取扱説明書は保守の為、お客様に必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

注意

- 本書に記載している画面およびイラストは実際の製品と異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
- 本機の不適切な使用、本機に基づかない使用を理由とする損害、逸失利益等の損害請求につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1

使用条件

- 以下の環境でご使用ください。
 - ゲートウェイから半径、半徑35m以内
 - 1個用スイッチボックス (JISC8340)
 - 動作温度: +5℃ ~ +35℃
 - 保存温度 (非動作時): -10℃ ~ +50℃
 - 湿度: 80%以下 (結露しないこと)

2. 安全上のご注意

ご使用前に“安全上のご注意”をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

誤った取扱いをしたときに、使用者が障害を負う可能性があります。

感電や障害の恐れがあります

- 製品の分解、修理、改造はしないでください。(火災、感電の原因となります。)
- 水に濡れる恐れがある場所での使用はしないでください。水に濡れた場合はご使用をやめ、販売店または最寄営業所にご相談ください。(感電、故障の原因となります。)
- 漏気、ホコリ、すすの多い場所には置かないでください。(故障、火災の原因となります。)
- 直射日光の当たる場所、ストーブの近く(235℃以上の高温になる場所や火気の周り)およびエアコンの吹き出し口の近くのご使用、設置しないでください。(故障、火災の原因となります。)
- 施工は構内店舗または専門業者に依頼してください。(感電、火災、感電の原因となります。)
- 重量に十分耐えられる場所に確実に取り付けてください。(落下による火災、感電の原因となります。)

注意

誤った取扱いをしたときに、製品の故障およびデータ損失の可能性があります。

2

故障の可能性があります

- 製品を落とすなど強い衝撃を与えたり、製品の上に重いものを置かないでください。(故障の原因となります。)
- 製品の内部にホコリなどの異物が入らない様に注意してください。(故障、火災の原因となります。)
- オプション部品は付属の専用オプション部品をご使用ください。(故障の原因となります。)
- 製品に水をかけたり、ベンゼン、シンナーなどの化学物質で拭かないでください。(火災、感電および表面をいためる恐れがあります。)
- 磁石など磁場の強いものを一緒に保管しないでください。(故障の原因となります。)
- 可燃性ガスが漏れる可能性がある場所には設置しないでください。(発火の原因となります。)
- 濡れた手で本体に触れないでください。(感電、故障の原因となります。)
- 乾電池をいれ間違いながら充電器に設置しないでください。(絶縁不良や固定部のサビにより、感電、落下の原因となります。)
- 定期点検のおすすめ
 - 1年に1回程度の点検をおすすめします。
 - ホコリの蓄積、異常な臭い、異音、発熱が無いことを確認してください。
 - 異常を感じた場合はご使用をやめ、最寄営業所にご相談ください。

3. ご使用上に関するお知らせ

以下については故障や異常ではありません。

- リモコンの近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- リモコン表面の一部にウォールライン (薄い線のようなもの) が見える場合があります。

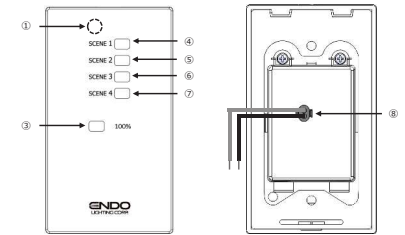
3. 構成

- ① 壁付けリモコン本体 (無線モジュール内蔵)
- ② 取付板
- ③ M4 ピス 2本
- ④ 1個用スイッチボックス (JISC8340) (別途)
- ⑤ 取扱説明書 (本書)



3

4. 各部の名称・機能

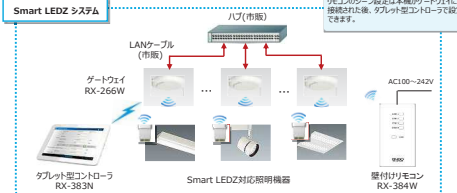


- ① 前面インジケータ : 通常時は消灯しています。ボタンを押したときなどに赤色で点滅します。詳細は13ページを参照してください。
- ② トップインジケータ : 通常時は消灯しています。セットアップ時などに赤色で点滅します。詳細は13ページを参照してください。
- ③ 100%調光ボタン : リモコン内で設定された(シーン設定) 照明を100%調光します。
- ④ SCENE1ボタン : シーン1を再生します。
- ⑤ SCENE2ボタン : シーン2を再生します。
- ⑥ SCENE3ボタン : シーン3を再生します。
- ⑦ SCENE4ボタン : シーン4を再生します。
- ⑧ 引出線 : 引出線から電力供給します。(線長150mm. 極性なし)

※ ③～⑦いずれかのボタンを押した後、前面インジケータの点滅が終了するまで次のボタン操作は行えません。(約5秒間点滅します)
※ ③と⑥を5秒間同時押しで「アップモード」※③と⑦を5秒間同時押しで「セットアップモード」に切り替えることができます。各モードの機能については、13ページの表をご参照ください。

4

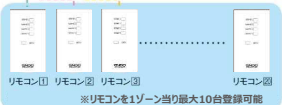
5. システム概要



- Smart LEDZ システムで最大20ゾーン×10シーンの設定が可能です。
- 1ゾーン10シーンの中から4シーンまでリモコンの設定が可能です。
- 1ゾーンあたり、最大10台までリモコンの設定が可能です。
- 別ゾーンのシーンを1台のリモコンに登録することはできません。

※ゾーンは最大20ゾーン設定可能

ゾーン①	ゾーン②	③	ゾーン④
シーン 1	シーン 1	1	シーン 1
シーン 2	シーン 2	2	シーン 2
シーン 3	シーン 3	3	シーン 3
シーン 4	シーン 4	4	シーン 4
シーン 5	シーン 5	5	シーン 5
シーン 6	シーン 6	6	シーン 6
シーン 7	シーン 7	7	シーン 7
シーン 8	シーン 8	8	シーン 8
シーン 9	シーン 9	9	シーン 9
シーン 10	シーン 10	10	シーン 10



5

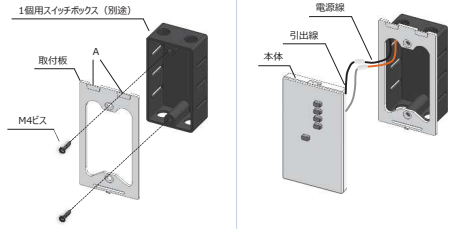
注意

- リモコン本体でのシーン登録はできません。あらかじめタブレット型コントローラで設定した複数のシーンの中から、任意のシーンを選択してリモコンボタンに登録します。
- リモコンの登録可能台数は、Smart LEDZ システムあたり、シーンセレクトリモコン (RX-342N) と合わせて20台までです。ただし、複数台のリモコンまたは照度・人感センサーを同時に使用すると、シーンの切換えに遅延が発生する場合があります。全てのリモコンを同時に操作しない場合は、最大40台まで登録が可能です。
- 予備の接続可能台数は、ゲートウェイ1台あたり最大200台までです。例えば、セクター5台、リモコン台が登録されている、残りの接続可能台数は190台です。
- シーンの切換えや照明の100%調光を無線送信で制御するため、連続での操作はできません。リモコンボタンを押したら、別のボタンが反応するまで5秒かかります。

6. 製品の設置手順

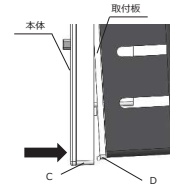
壁付けリモコンの設置

1. 取付板上部のツメ受け部(A)を上にして、リモコン付属のM4ピスをスイッチボックスへネジ止めしてください。
2. 電源線と引出線を接続してください。接続はスイッチボックス内で行ってください。



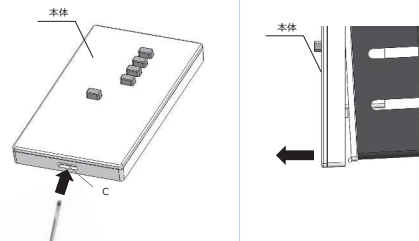
6

4. リモコン本体下側のツメ受け(C)を取付板下側のツメ(D)に押し込みます。



リモコンの取り外し

1. リモコン本体下側のツメ受け(C)をマイナスドライバーなどで押し戻します。
2. リモコン本体の下端を手前へ引くことで取り外せます。



7

注意

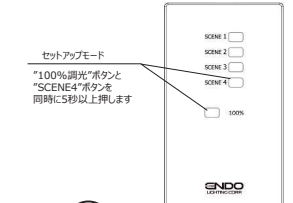
- M4ピスは必ず付属のビスを使用してください。
- M4ピスをあまり強い力で締結すると、取付板が破損するおそれがあります。
- リモコンはゲートウェイと無線通信します。リモコンの設置場所はゲートウェイから見通し半径35mの通信範囲内に設置することを推奨します。
- リモコンをJIS適合スイッチボックス (JISC8340) 以外に設置しないでください。
- リモコンを設置した壁面に金属製の場合、うまく通信できないおそれがあります。
- リモコンに電源を投入した後は、下記手順でゲートウェイと接続してください。下記手順を行わない場合、ゲートウェイとの通信が再開されます。シーンの操作が出来ません。①セットアップモード (※1) にしてください。前面インジケータが4秒消灯し、接続を開始します。②前面インジケータが1秒間隔の点滅に変化したとき、接続完了です。その後、スタンバイモード (※2) に戻すことでリモコンが使用できる状態になります。

※1 セットアップモード : リモコンを登録・設定するモードです。【HOME】画面▶【セットアップ】▶【基本設定】▶【ゲートウェイ通信詳細設定】をタップします。再度、「100%調光」ボタンと「SCENE4」ボタンを同時に5秒以上押すことでスタンバイモードに戻ります。

※2 スタンバイモード : 通常使用時のモードです。

7. リモコンのシーン設定

1. タブレット型コントローラでシーン作成を行ってください。シーン作成についてはタブレット型コントローラに付属しています「Smart LEDZ ユーザーマニュアル」をご確認ください。
2. タブレット型コントローラでゲートウェイのリモコンの新規接続を可能な状態にします。【HOME】画面▶【セットアップ】▶【基本設定】▶【ゲートウェイ通信詳細設定】をタップします。無線リモコン新規接続の【編集】ボタンをタップし、「接続可能」を選択し【OK】をタップしてください。
3. シーン設定のためにセットアップモードに切り替えます。

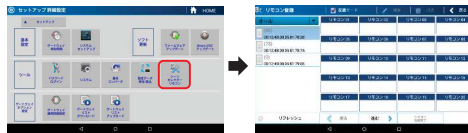


8

4. セットアップ画面の[5 基本設定]をタップし、「セットアップ詳細設定」画面を表示します。



5. 「セットアップ詳細設定」画面の[シーンセレクト]をタップし、「リコン登録」画面を表示します。



6. シーンを設定するリコンを右側のリコンシンボル画面にドラッグ&ドロップします。デバイス1つ以内のリコンをタップすると、2つのインジケータが点滅します。(前面インジケータ、トップインジケータ) この点滅を確認することで、どのリコンを選択しているか判別できます。タブレット画面にはリコンシンボル画面が最大20台分表示されます。(リコン01～リコン20)「進む」ボタンをタップすると次画面に更に20台分のリコン設定画面を表示することができます。(リコン21～リコン40)



登録されているリコンの配置情報(リコンシンボル画面)から消去したい場合は、該当するリコンシンボルを選択し、上段の「消去」ボタンをタップした後、確認画面の[Yes]をタップしてください。



7. 登録済みのリコンシンボルを選択し、「編集」ボタンをタップします。



8. 「リコンのシーンセレクト」画面で、設定したい[シーン]および[シーン]を選択します。



9. 選択したシーンを「リコンボタン」の設定したいボタンにドラッグ&ドロップします。設定が終わったら、画面右上の「戻る」ボタンをタップし、リコンのシーンセレクト画面を閉じます。

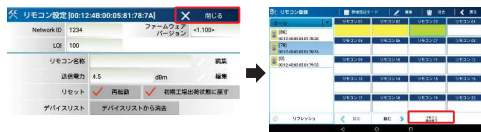


10. 「配置モード」の選択を解除し、「詳細設定モード」にすることでリコンの詳細設定ができます。デバイス1つのアイコンをロングタップし、「リコン設定」画面を表示します。



- ① リコン名称
- ② 送信電力
- ③ 音量
- ④ 初期工場出荷状態に戻す
- ⑤ デバイス消去

11. リコン設定が終了しましたら、画面右上の「閉じる」ボタンをタップし、「リコン設定」画面を閉じます。[リコン設定終了]をタップして、シーンの設定を終了します。リコンは自動でスタンバイモードに戻ります。



12. タブレット型コントローラでゲートウェイとリコンの新規接続を不可能な状態にします。「HOME」画面▶[セットアップ]▶[5 基本設定]▶[ゲートウェイ通信詳細設定]をタップします。無線モジュール新規接続の「編集」ボタンをタップします。「接続不可能」を選択し、[OK]をタップしてください。

※その他機能、詳細設定についてはタブレット型コントローラに付属されています「Smart LEDZ ユーザーマニュアル」をご確認ください。

注意

- リコンの電源を切っても、リコンに設定されているシーン情報は保持されます。ただし、ゲートウェイの通信を再開するための操作が必要で、操作方法は8ページの注意をご参照ください。
- セットアップモード中は、リコンでシーン選択、照明の100%調光はできません。
- リコンのボタンを押しても5秒以内は他のボタンを押しても、反応しません。
- セットアップモード中は、再帰通信を行なため、通常より電力を消費します。リコンの登録および設定が終わりましたら、必ずスタンバイモードに戻っていることをご確認ください。

その他

- リコンのファームウェアのアップグレードはSmart LEDZタブレット型コントローラを操作して行います。
- リコンのファームウェアのアップグレードはアップグレードモード(※3)で進行之、トップインジケータが点滅します。

アップグレードの手順については、タブレット型コントローラに付属されています「Smart LEDZ ユーザーマニュアル」をご確認ください。

※3 アップグレードモード・・・リコンをアップグレードするためのモードです。リコンとゲートウェイは常時通信します。アップグレードモードが100%調光ボタンと「SCENE3」ボタンを同時に5秒以上押し続けます。

リコンのインジケータについての動作は以下表を参照ください。

モード	インジケータ	動作	説明および状態
スタンバイモード (通常使用時のモード)	前面インジケータ	消灯	ボタンを押していない時
	インジケータ	5秒連続点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)	ボタンを押した時
セットアップモード (リコンを登録・設定するモード)	前面インジケータ	点滅(1秒点灯、4秒消灯)	ゲートウェイ未接続
	インジケータ	点滅(1秒点灯、1秒消灯)	ゲートウェイと接続済
アップグレードモード (リコンをアップグレードするモード)	前面インジケータ	5秒連続点滅(0.5秒点灯、0.5秒消灯)	リコン登録時の特定用(※4)
	トップインジケータ	点滅(1秒点灯、4秒消灯)	アップグレード前
	インジケータ	点滅(1秒点灯、1秒消灯)	アップグレード中(※5)

※4 リコン登録時に、デバイス1つ以内のリコン/MACアドレスをタップすると、2つのインジケータが点滅します。点滅することで対応するリコンが判別できます。

※5 アップグレード後は、自動的にスタンバイモードに移行します。

8. トラブルシューティング

よくある質問と対処法について説明します。

Q: Smart LEDZタブレット型コントローラでの設定はできたが、リコンで照明を操作できない。
A: 周囲の通信環境に影響を受けている可能性があります。

チャンネルを変更する、送信電力を上上げるなどの対策が必要です。設定方法の詳細はタブレット型コントローラに付属されていますSmart LEDZユーザーマニュアルをご参照ください。

上記でも操作できない場合は、リコンの電源を入れなおすか、リコン設置位置の変更をご検討ください。電源を入れなおした際は必ず、セットアップモードに変更してゲートウェイと再接続してください。詳細は8ページの注意をご参照ください。

Q: リコンで制御する場所やシーンの設定を変更したい。
A: Smart LEDZタブレット型コントローラから設定の変更を行ってください。本書の17.リコンのシーン設定の2から順番に設定してください。

9. 製品仕様

- 電源 : AC 100～242V
- サイズ : W70 x H31 x L124mm
- 重量 : 132g (本体のみ、取付板を除く)
- 消費電力 : 1.5W ※ゲートウェイとの通信時
- 通信距離 : ゲートウェイから見通し半径35m以内(直径70m)
※一般的な壁で隔てられていない解放空間での通信距離
※35m以内でも設置場所、方向などにより通信できない場合があります。設置前にご確認ください。

10. 保証とアフターサービス

無償提供規定

1. 保証期間内に故障し無償提供をご依頼の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
2. 無償保証期間および範囲
 - 据え付けた当日を含めた1年間ですが、無償にて代替品の支給を行うのは、故障または当該が認められた場合に限り。
 - アフターサービスについて不明な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には有償提供となります。
 - a. 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合。
 - b. 当製品を改造した場合。
 - c. 操作方法の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - d. 使用上の誤り(水などの液体に流れ、水没、落下等)、または、誤接続や誤挿入による事故、損傷や故障の場合。
 - e. 有寿命部品、消耗品(バッテリー、乾電池等)の自然劣化、消耗等により部品の交換が必要になった場合。
 - f. 据え付け場所の不備による事故、損傷や故障の場合。
 - 化学薬品および強電界などの特殊環境条件、結露、塩害など。
 - g. 据え付け工事での取扱い不備がある場合。
 - 据え付け工事での取扱い不備のため事故、損傷や故障の場合。
 - h. 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地災、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合。
 - i. 本製品事故に起因した警察保証などの2次保証はいたしません。
 - j. その他、据え付け、操作、保守上常識となっている内容を逸脱したご使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。
4. 本製品は日本国内専用です。日本国外でのご使用できません。アフターサービスもできません。 This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.
5. この保証内容は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償提供をお約束するものではありません。したがって、この保証内容によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

11. 注意事項

電波干渉によって、次のような状態になる可能性があります。

- 1) ゲートウェイとの通信距離の短縮
- 2) 通信の一時的または完全な遮断

電気機器やAV・OA機器、または電磁波が発生する磁気機器の付近でのご使用は避けて下さい。周囲の磁気や電気ノイズによっては通信ノイズが増えSmart LEDZシステムの無線通信が遮断される可能性があります。(特に電子レンジを使用する場合) TV、ラジオなどの付近やモバイルルーターの使用はSmart LEDZシステムとの干渉を起こすことがあります。無線通信(電波)は周囲の障害物により向きによって、反射したりします。

障害物による影響の程度は、以下のとおりです。

材質	金属	コンクリート	煉瓦	石膏ボード	合成樹脂	ガラス
障害の影響	とても大きい	大きい	中	小さい	小さい	小さい

2.4GHzの装置の注意事項

本製品は2.4GHz帯高周波化小電力データ伝送システムが組み込まれており、2.4GHz帯全帯域を使用する無線設備で移動体識別装置の帯域に対して回送可能です。

本製品は産業、科学、消費者及び医療機器等に使用されるのと同じ周波数帯域で動作しています。この周波数帯域は、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、製造生産ライン(免許を要する無線局)で使用する移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)などが含まれています。

- 1) 本製品を使用する前に移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局として、特定小電力無線局とアマチュア無線局を識別するための無線基地局が近くに運営されていないことを確認してください。
- 2) 本製品が特定の無線局および無線基地局に妨害電波干渉を起す場合には、すぐに電波の発信を停止し、別の場所に移動する小使用を停止し、または周波数チャンネルを変更してください。
- 3) 本製品は、電波法に基づき特定小電力無線局システムの無線局の端末設備として技術基準適合証明を受けた部品が内蔵されています。
- 4) 本製品は、技術基準適合証明等を受けていますので、本製品を分解・改造した場合、法律で罰せられることがあります。